

現地報告会「ガザ・紛争下に生きる子どもたち」を開催しました

12月6日(土)、みやぎ生協文化会館ウイズ会議室にて開催し、70名が参加しました。認定NPO法人地球のステージのパレスチナ駐在員の前田那美子さんと国内調整員の樫尾絵梨さんから、パレスチナ・ガザの様子や、団体が活動している『子どもたちへの心理社会的ケア』のことや、なぜ必要なのかなどを、映像を使いながらお話いただきました。今までに何度も攻撃を受けた様子や、2014年夏の『50日戦争』での被害の様子と子どもたちの心の痛手のことなど、新聞やテレビからの情報だけでは知れないことを知ることができました。(パレスチナ刺繍を施した2人の衣装)



参加者からガザの子どもたちへのメッセージが多数寄せられました。

「決して未来に絶望することなく、一日一日を元気に過ごしてください」

「はやく戦争のない平和な日々を過ごせますように」「私たちはみなさんとともにいます」 アラビア語に訳してガザの子どもたちに届けます。

ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動)行いました

1979年の国際児童年には始まり、今年で36回目を迎えました。ボランティアに40人が参加し、12月23日、仙台市青葉区一番町で、クリスマスの買い物客でにぎわう街中で募金を呼びかけました。小学生の子どもたちはより一層元気な声が出ていました。小さなお子さんたちもお父さんやお母さんといっしょに募金に協力してくれました。わずかな時間でしたが、53,757円の募金が寄せられました。



た。皆さまのあたたかい気持ちに触れ、師走の寒さも吹き飛んだようです。ありがとうございました。



みやぎ生協桜ヶ丘店で『ユニカフェ』開催

昨年に引き続き、今年も桜ヶ丘店へ〜ぷ委員会主催で「気軽なユニセフ学習会」を12月1日に開催し、10名の方々が参加しました。日頃協力している『ユニセフ募金』が具体的にどのように役に立っているのかを、映像を使いながらお伝えしました。また、みやぎ生協のメンバー活動で行っているユニセフ支援活動のいろいろもお知らせしました。1990年に、リサイクルの先駆けとして行った「牛乳パック回収」がユニセフ募金につながっていることを初めて知った人もいました。(みやぎ生協の独自の支援方法ですが)



牛乳パックはぜひCOOPのお店の回収ボックスにお出してください。

東ティモール・スタディツアー

報告会にご参加ください!



10月26日から11月2日まで、ユニセフ・東ティモール・スタディツアーが実施され、みやぎ生協理事の薄木芳美さんが参加しました。その報告会を、1月14日(水)10:30よりフォレスト仙台第7会議室にて開催します。東ティモールコーヒーの試飲やタイスパザー(現地の織物で作った小物)も予定しています。参加は無料です。お気軽にご参加ください。

2014年度第2回理事会を開催しました

12月9日(火)、事業経過報告や次年度の事業計画案などを理事の皆さまにご協議いただきました。2015年は宮城県ユニセフ協会設立20周年を迎えます。多くの皆さまのご支援とご協力の賜物と感謝いたしております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

